

ACT 位置検索ライブラリ

Version 6.0

関数リファレンス

～目次～

1. 概要	1-1
2. 住所検索の注意点	2-1
3. アプリケーションの作成	3-1
4. 関数一覧	4-1
5. 関数仕様	5-1
6. 構造体の定義	6-1
7. ファイルの定義	7-1

ACT 位置検索ライブラリ Version 6.0

関数リファレンス

2001年 9月 1日	初版発行
2001年12月 1日	改訂第1版発行 (Version 1.1)
2006年 1月30日	改訂第2版発行 (Version 3.0)
2007年11月29日	改訂第3版発行 (Version 3.1)
2010年 9月17日	改訂第4版発行 (Version 4.0)
2011年11月 1日	改訂第5版発行 (Version 5.0)
2014年 4月 7日	改訂第6版発行 (Version 5.0 対応 OS 追加・変更)
2015年10月27日	改訂第7版発行 (Version 6.0)

編著者・発行人 アドバンスド・コア・テクノロジー株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋3-7-4 赤レンガ通りビル2階
電話 03-5512-9021 FAX 03-5512-9022
e-mail mail@act-inc.co.jp

本書に記載されている事項は、予告なしに変更されることがあります。

アドバンスド・コア・テクノロジー株式会社は本書に記載されている事項に関して一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本書の一部または全部をアドバンスド・コア・テクノロジー株式会社の書面による承諾なしに複製することは禁じられています。

Copyright (C) 2001-2015 by Advanced Core Technologies, Inc.

All rights reserved. No part of the contents of this book may be reproduced or transmitted in any form or by any means without the written permission of the publisher.

Windows は米国マイクロソフト社の登録商標です。

MapInfo および MapBasic は米国ピツニーボウズ・ソフトウェア社の登録商標です。

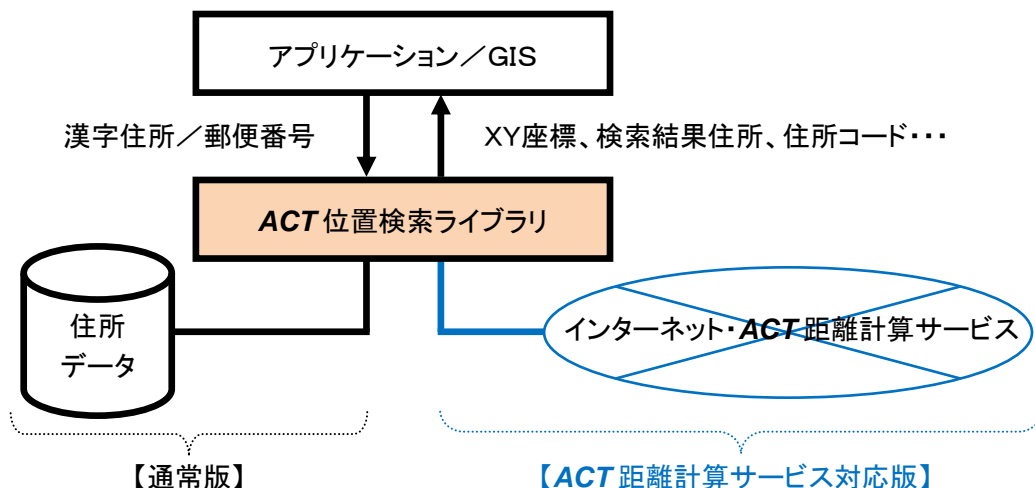
本書掲載の製品または製品名称は各社の商標または登録商標です。

本ソフトウェアが使用する住所データは株式会社昭文社アドレスデータ、および、「街区レベル位置参照情報 国土交通省」を使用して作成しました。

1. 概要

ACT 位置検索ライブラリは、指定した漢字住所、または、郵便番号を解析して当該住所のXY座標、検索結果住所文字列・住所コード、住所レベルを返す DLL です。

本ライブラリには、ローカルに住所データをインストールする通常版と、**ACT** 距離計算サービスの住所検索機能を使用する **ACT** 距離計算サービス対応版の2種類がありますが、上位アプリケーションからの関数コール方法はどちらも同じです。



1.1 動作環境

項番	項目	基本仕様
1	OS	Windows 7 Professional、Windows 8.1 Pro、Windows 10 (.NET Framework 4 以上が必要です。)
2	CPU	Core i3 2.0GHz 相当以上
3	メモリ(RAM)	1GB 以上
4	ディスク・スペース	空き容量 10MB以上 (ACT 距離計算サービスを利用する場合) 空き容量 400MB以上 (通常版 大字・丁目レベル) 空き容量 2GB以上 (通常版 街区レベル) 空き容量 6GB以上 (通常版 番地・号レベル)
5	ネットワーク	ACT 距離計算サービスを利用する場合はインターネット接続が必要です。

1.2 住所データ

本ソフトウェアが使用する住所データおよび郵便番号データは、株式会社昭文社の著作物です。一部の住所データは、「街区レベル位置参照情報 国土交通省」を使用して作成しました。大口事業所の郵便番号データは、郵便事業株式会社の郵便番号データを使用しています。

デフォルトの座標系は経度・緯度東京(日本測地系)です。

1.3 特徴

①高度な住所検索機能

旧住所や間違えやすい漢字を自動で修正して検索します。また、住所や郵便番号を検索した結果を訂正するユーザーインターフェースを実装しているため、簡単に高度な住所検索機能をアプリケーションに組み込むことができます。

②ACT 距離計算サービスのサポート

ローカルに住所データをインストールする通常版と、ACT 距離計算サービスの住所検索機能を使用する ACT 距離計算サービス対応版の2種類のライブラリがあります。上位アプリケーションからの関数コール方法は同じですので、アプリケーションを変更することなく、ローカル版(通常版)からネットワーク版(ACT 距離計算サービス対応版)に移行することができます。

③番地・号レベル住所検索のサポート

番地・号レベルの住所データの検索をサポートしています。実際に検索できる住所のレベルは、ご購入いただいた住所データの種類、または、ACT 距離計算サービスの会員種別により異なります。

④世界測地系への対応

本ライブラリの住所データの座標系は経度・緯度東京(日本測地系)ですが、下記のいずれかの指定により、座標を世界測地系に変換することができます。

- 各関数に ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)フラグを指定する。
- 本ライブラリをインストールしたフォルダの ActGeo.ctr ファイルの [SYSTEM] セクションに、ITRF=1 と記述する。

⑤住所コードの出力

住所検索構造体、および、住所検索・郵便番号検索の出力テキストデータに解析結果住所の住所コードが出力されます。住所コードの先頭5桁は、JIS市区町村コードを使用しています。

6桁目以降は、独自の住所コード体系を用いており、住所データが更新されると同じ住所でも異なるコードが設定されることがありますので、注意してください。

⑥旧関数のサポート

Version 3.1 以前の関数を引き続き使用することができます。また、旧関数で番地・号レベルの住所検索レベルを指定して住所検索を行うことも可能です。なお、旧関数を使用する住所検索構造体の大字名称メンバ、番地名称メンバ、号名称メンバの値は、検索結果の文字が途中でトランケートされることがありますので、注意してください。

1.4 Version 6.0 の新機能

①32bit 版と 64bit 版のモジュールを提供

本バージョンでは、32bit 版モジュールに加えて、新たに 64bit 版モジュールを提供しています。64bit アプリケーションにも住所検索機能を組み込むことができます。

②解析結果の測地系の出力

位置検索情報構造体に解析結果の測地系を格納するメンバ(nDatum)が追加されました。

また、ACT_GEOV4_GetXYFromAdrBatchEx 関数と ACT_GEOV4_GetXYFromZipBatchEx 関数で出力するファイルにも、解析結果の測地系を格納するフィールドが追加されました。

2. 住所検索の注意点

2.1 漢字住所検索の注意点

- 住所は都道府県名から省略せず入力してください。
- 政令指定都市では“〇〇市△△区”と入力してください。
- 郡部では“〇〇郡△△町”、“〇〇郡△△村”と入力してください。ただし、東京都の離島部は除きます。
- 住所には「支庁」を含まないでください。
- 解析可能な住所レベルは、インストールした住所データのレベルに応じて、大字・丁目、街区、番地・号レベルです。

2.2 郵便番号検索の注意点

①通常の郵便番号

通常の郵便番号の検索では、本ソフトウェアが漢字住所検索で使用する大字・丁目毎の地点データに結び付けられている郵便番号を探索します。1つの郵便番号が1つの大字・丁目に対応している場合には、その大字・丁目の座標が検索結果となります。1つの郵便番号が複数の大字・丁目を含む場合には、該当する大字・丁目の座標の中心に最も近い大字・丁目検索結果となります。これらの場合の検索レベルは大字・丁目(8)となります。

本ソフトウェアが漢字住所検索で使用する大字・丁目毎の地点データに含まれていない郵便番号の場合は、本ソフトウェアの住所データのリリース日付時点で利用可能な郵便番号データを探索し、該当する郵便番号の都道府県・市区町村・町域から漢字住所検索機能を用いて地点座標を求めます。この場合の検索レベルは市区町村(2)または大字・丁目(8)となります。

たとえば、郵便番号の町域が「以下に掲載のない場合」などの特定の大字・丁目検索結果となっていない郵便番号の場合には、検索レベルは市区町村レベル(2)となります。

②大口事業所郵便番号

大口事業所郵便番号の検索では、大口事業所郵便番号データに記載されている郵便番号を探索し、該当する事業所の所在地から漢字住所検索機能を用いて地点座標を求めます。

大口事業所郵便番号データに記載されている所在地は、必ずしも正確な住所とは限りません。このため、本ソフトウェアが特定する座標のレベルは、市区町村(2)、大字・丁目(8)、街区(16)、号(32)のいずれかになります。

3. アプリケーションの作成

本ライブラリは標準的な Win32 API DLL 形式で提供されますので、DLL を使用することができる開発環境であれば、アプリケーションの作成が可能です。

これらの開発環境でアプリケーションを作成する際には、インストールフォルダに作成された“SDK”フォルダに、下表のヘッダーファイル／定義ファイルを用意していますので、ご参照ください。

ファイル名	説明
位置検索ライブラリ・関数リファレンス.PDF	ACT 位置検索ライブラリの関数仕様(本書)
ACTGEODK.H	C/C++用ヘッダーファイル
ACTGEODK.CS	C#用クラス定義ファイル
ACTGEODK.DEF	MapBasic 用関数定義ファイル

本ライブラリをインストールすると、インストールフォルダのパスがレジストリに登録されます。本ライブラリ (ACTGEODK.DLL) を明示的にロードする際には、以下のレジストリに保存されたフォルダのパスをご参照ください。

ルートキー	HKEY_LOCAL_MACHINE
サブキー	SOFTWARE¥Advanced Core Technologies,Inc.¥ActGeo 64bit OS に 32bit 版ライブラリをインストールした場合は、 SOFTWARE¥WOW6432NODE¥Advanced Core Technologies,Inc.¥ActGeo
値の名前	ProgramDirectory
値の種類	REG_SZ

Version 6.0 では、下表の旧バージョンのサブキーを引き続き使用することができますが、新たに作成するプログラムは新しいサブキーを使用するようにしてください。

旧サブキー	SOFTWARE¥Advanced Core Technologies,Inc.¥位置検索ライブラリ 64bit OS に 32bit 版ライブラリをインストールした場合は、 SOFTWARE¥WOW6432NODE¥Advanced Core Technologies,Inc.¥位置検索ライブラリ
-------	--

4. 関数一覧

項番	関数名	説明
1	ACT_GEOCODE_GetLibVersion	ACTGEODK.DLL のバージョンを返します。
2	ACT_GEOCODE_VerifyEnvironment	位置検索ライブラリと住所データが正常にインストールされているかをチェックします。
3	ACT_GEOCODE_GetDeepestAdrLevel	インストールされている住所データで検索可能な最も下位の住所レベルを求めます。
4	ACT_GEOV4_GetXYFromAdr ^(注)	指定した住所文字列を解析します。
5	ACT_GEOV4_GetXYFromZip ^(注)	指定した郵便番号文字列を解析します。
6	ACT_GEOV4_DecideXYFromAdr ^(注)	指定した住所文字列で解析した結果をダイアログ表示し、そこで住所を確定します。
7	ACT_GEOV4_DecideXYFromZip ^(注)	指定した郵便番号文字列で解析した結果をダイアログ表示し、郵便番号および住所を確定します。
8	ACT_GEOV4_GetXYFromAdrBatch ^(注)	複数の住所文字列を一括解析します。
9	ACT_GEOV4_GetXYFromZipBatch ^(注)	複数の郵便番号文字列を一括解析します。
10	ACT_GEOV4_GetXYFromAdrBatchEx ^(注)	テキストファイルに出力した複数の住所文字列を一括解析します。
11	ACT_GEOV4_GetXYFromZipBatchEx ^(注)	テキストファイルに出力した複数の郵便番号文字列を一括解析します。
12	ACT_GEOV4_GetNearestAddress	指定した経緯度に最も近い大字・丁目レベルの住所を求めます。

(注) 番地・号レベルへの対応により Version 4.0 で追加された関数。これらの関数は Version 3.1 の下記の関数を継承したものです。

- ACT_GEOCODE_GetXYFromAdr
- ACT_GEOCODE_GetXYFromZip
- ACT_GEOCODE_DecideXYFromAdr
- ACT_GEOCODE_DecideXYFromZip
- ACT_GEOCODE_GetXYFromAdrBatch
- ACT_GEOCODE_GetXYFromZipBatch
- ACT_GEOCODE_GetXYFromAdrBatchEx
- ACT_GEOCODE_GetXYFromZipBatchEx

5. 関数仕様

```
int WINAPI ACT_GEOCODE_GetLibVersion( void );
```

本ライブラリのバージョン番号を求めます。

パラメータ	説明
-------	----

なし	
----	--

戻り値

本ライブラリのバージョン番号。
バージョン 6.0 の場合は、6000 を返します。

備考

本関数は DLL のバージョンを求めるだけでなく、明示的に DLL をロードしない場合に、DLL をロードする目的で使用することができます。

```
short WINAPI ACT_GEOCODE_VerifyEnvironment( void );
```

位置検索ライブラリと住所データが正常にインストールされているかをチェックします。

パラメータ

説明

なし

戻り値

本関数は以下の値を返します。

値	意味
ACTGEODK_RET_TRUE(0)	正常にインストールされているとき
ACTGEODK_RET_ADDRDATAERR(2)	住所データがインストールされていないとき
ACTGEODK_RET_NOTACTIVATED(5)	ライセンス認証が完了していないとき
ACTGEODK_RET_OTHERERR(10)	その他、正常にインストールされていないなど

備考

本関数でエラーを返した場合、ACT_GEOV4_Get…関数、ACT_GEOV4_Decide…関数をコールしてもエラーを返します。本ライブラリの関数を使用するためには、再度位置検索ライブラリと住所データをインストールしてください。

```
int WINAPI ACT_GEOCODE_GetDeepestAdrLevel( void );
```

検索可能な最も下位の住所レベルを求めます。

パラメータ

説明

なし

戻り値

検索可能な最下位の住所レベル。

値	意味
ACTGEODK_NONELEVEL(0)	検索できません
ACTGEODK_PREFLEVEL(1)	都道府県レベル
ACTGEODK_CITYLEVEL(2)	市区町村レベル
ACTGEODK_OAZLEVEL(8)	大字・丁目レベル
ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)	街区レベル
ACTGEODK_GOULEVEL(32)	号レベル

備考

本関数は、インストールされている住所データから、検索可能な最も下位の住所レベルを求めます。

```
short WINAPI ACT_GEOV4_GetXYFromAdr( HWND hWnd, short nStartSearchFlag,
    short nEndSearchFlag, LPGEOINFOV4 lpGeoInfo, UINT uFlag );
```

指定した住所を解析し、解析結果を位置検索情報構造体にセットします。

パラメータ	説明												
hWnd	親ウィンドウのハンドルを指定します。												
nStartSearchFlag	解析を開始する住所レベルを指定します。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACTGEODK_PREFLEVEL(1)</td> <td>都道府県レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_CITYLEVEL(2)</td> <td>市区町村レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_OAZLEVEL(8)</td> <td>大字・丁目レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)</td> <td>街区レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_GOULEVEL(32)</td> <td>号レベル</td> </tr> </tbody> </table>	値	意味	ACTGEODK_PREFLEVEL(1)	都道府県レベル	ACTGEODK_CITYLEVEL(2)	市区町村レベル	ACTGEODK_OAZLEVEL(8)	大字・丁目レベル	ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)	街区レベル	ACTGEODK_GOULEVEL(32)	号レベル
値	意味												
ACTGEODK_PREFLEVEL(1)	都道府県レベル												
ACTGEODK_CITYLEVEL(2)	市区町村レベル												
ACTGEODK_OAZLEVEL(8)	大字・丁目レベル												
ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)	街区レベル												
ACTGEODK_GOULEVEL(32)	号レベル												
nEndSearchFlag	解析を終了する最上位の住所レベルを指定します。上位レベルの住所解析をしない場合は ACTGEODK_NONELEVEL(0)を設定します。												
lpGeoInfo	解析対象を設定し、解析結果を受け取る位置検索情報構造体へのポインタを指定します。詳細は、「6. 構造体の定義」をご参照ください。オンコール時には位置検索情報構造体の出力用メンバをゼロクリアしておいてください。												
uFlag	世界測地系に変換する場合に ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)を指定します。												

戻り値

本関数は以下の値を返します。

値	意味
ACTGEODK_RET_TRUE(0)	住所取得が成功したとき
ACTGEODK_RET_OTHERERR(10)	住所の取得に失敗したとき

備考

なし

```
short WINAPI ACT_GEOV4_GetXYFromZip( HWND hWnd, short nStartSearchFlag,
    short nEndSearchFlag, LPGEOINFOV4 lpGeoInfo, UINT uFlag );
```

指定した郵便番号を解析し、解析結果を位置検索情報構造体にセットします。

パラメータ	説明												
hWnd	親ウィンドウのハンドルを指定します。												
nStartSearchFlag	Version 6.0 では使用しません。常に 0(ゼロ)を指定します。												
nEndSearchFlag	Version 6.0 では使用しません。常に 0(ゼロ)を指定します。												
lpGeoInfo	解析対象を設定し、解析結果を受け取る位置検索情報構造体へのポインタを指定します。詳細は、「6. 構造体の定義」をご参照ください。オンコール時には位置検索情報構造体の出力用メンバをゼロクリアしておいてください。												
uFlag	本関数のパラメータとして以下の値の論理和を指定します。何も指定しない場合は ACTGEODK_FLAG_NONE(&H0)を指定します。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_ZIPSELTOP(&H1)</td> <td>解析結果の住所が複数存在し、指定した郵便番号が7桁のときに、先頭の住所を解析結果とする場合に指定します。</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_ZIPSELECTR(&H8)</td> <td>解析結果の住所が複数存在し、指定した郵便番号が7桁のときに、複数の住所の中心のXY座標を返します。</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_ZIPSELECTRADR(&H10)</td> <td>解析結果の住所が複数存在し、指定した郵便番号が7桁のときに、複数の住所の中心に最も近い地点の住所を解析結果とします。</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)</td> <td>世界測地系へ変換する場合に指定します。</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_NONE</td> <td>を指定したとき、解析結果の住所が複数存在する場合には、本関数はエラー (ACTGEODK_RET_OTHERERR)を返します。</td> </tr> </tbody> </table>	値	意味	ACTGEODK_FLAG_ZIPSELTOP(&H1)	解析結果の住所が複数存在し、指定した郵便番号が7桁のときに、先頭の住所を解析結果とする場合に指定します。	ACTGEODK_FLAG_ZIPSELECTR(&H8)	解析結果の住所が複数存在し、指定した郵便番号が7桁のときに、複数の住所の中心のXY座標を返します。	ACTGEODK_FLAG_ZIPSELECTRADR(&H10)	解析結果の住所が複数存在し、指定した郵便番号が7桁のときに、複数の住所の中心に最も近い地点の住所を解析結果とします。	ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。	ACTGEODK_FLAG_NONE	を指定したとき、解析結果の住所が複数存在する場合には、本関数はエラー (ACTGEODK_RET_OTHERERR)を返します。
値	意味												
ACTGEODK_FLAG_ZIPSELTOP(&H1)	解析結果の住所が複数存在し、指定した郵便番号が7桁のときに、先頭の住所を解析結果とする場合に指定します。												
ACTGEODK_FLAG_ZIPSELECTR(&H8)	解析結果の住所が複数存在し、指定した郵便番号が7桁のときに、複数の住所の中心のXY座標を返します。												
ACTGEODK_FLAG_ZIPSELECTRADR(&H10)	解析結果の住所が複数存在し、指定した郵便番号が7桁のときに、複数の住所の中心に最も近い地点の住所を解析結果とします。												
ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。												
ACTGEODK_FLAG_NONE	を指定したとき、解析結果の住所が複数存在する場合には、本関数はエラー (ACTGEODK_RET_OTHERERR)を返します。												

戻り値

本関数は以下の値を返します。

値	意味
ACTGEODK_RET_TRUE(0)	住所取得が成功したとき
ACTGEODK_RET_OTHERERR(10)	住所の取得に失敗したとき

備考

本関数は IpGeoInfo 構造体に指定された郵便番号から該当する住所を検索します。

ACTGEODK_FLAG_ZIPSELECTR(&H8)を指定した場合は、複数の該当する郵便番号が存在するときには、郵便番号検索に成功した場合でも、IpGeoInfo 構造体のXY座標のみがセットされます。この場合の検索レベルは大字・大字レベルとなります。

short WINAPI ACT_GEOV4_DecideXYFromAdr(HWND hWnd, short nSearchFlag,
LPGEOINFOV4 lpGeoInfo, LPCSTR szLabel, UINT uFlag);

指定した住所を解析し、解析結果を「住所選択」ダイアログに表示します。オペレータは「住所選択」ダイアログ上で住所を指定しなおすことができます。

パラメータ	説明												
hWnd	ダイアログの親ウィンドウのハンドルを指定します。												
nSearchFlag	解析する住所レベルを指定します。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACTGEODK_PREFLEVEL(1)</td> <td>都道府県レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_CITYLEVEL(2)</td> <td>市区町村レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_OAZLEVEL(8)</td> <td>大字・丁目レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)</td> <td>街区レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_GOULEVEL(32)</td> <td>号レベル</td> </tr> </tbody> </table>	値	意味	ACTGEODK_PREFLEVEL(1)	都道府県レベル	ACTGEODK_CITYLEVEL(2)	市区町村レベル	ACTGEODK_OAZLEVEL(8)	大字・丁目レベル	ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)	街区レベル	ACTGEODK_GOULEVEL(32)	号レベル
値	意味												
ACTGEODK_PREFLEVEL(1)	都道府県レベル												
ACTGEODK_CITYLEVEL(2)	市区町村レベル												
ACTGEODK_OAZLEVEL(8)	大字・丁目レベル												
ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)	街区レベル												
ACTGEODK_GOULEVEL(32)	号レベル												
lpGeoInfo	解析対象を設定し、解析結果を受け取る位置検索情報構造体へのポインタを指定します。詳細は、「6. 構造体の定義」をご参照ください。オンコール時には位置検索情報構造体の出力用メンバをゼロクリアしておいてください。												
szLabel	「住所選択」ダイアログの右上に表示する、NULL 文字で終了する文字列を指定します。												
uFlag	本関数のパラメータとして以下の値の論理和を指定します。何も指定しない場合は ACTGEODK_FLAG_NONE(&H0)を指定します。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_IGNOREBTN(&H4)</td> <td>「住所選択」ダイアログで「無視」ボタンを表示する場合に指定します。</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)</td> <td>世界測地系へ変換する場合に指定します。</td> </tr> </tbody> </table>	値	意味	ACTGEODK_FLAG_IGNOREBTN(&H4)	「住所選択」ダイアログで「無視」ボタンを表示する場合に指定します。	ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。						
値	意味												
ACTGEODK_FLAG_IGNOREBTN(&H4)	「住所選択」ダイアログで「無視」ボタンを表示する場合に指定します。												
ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。												

戻り値

本関数は以下の値を返します。

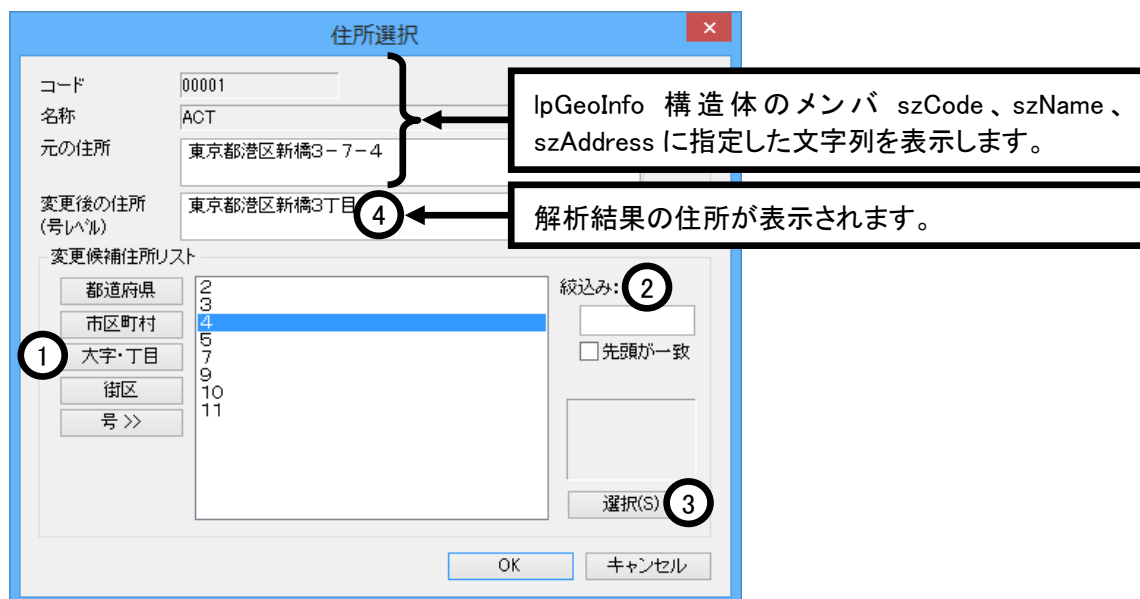
値	意味
ACTGEODK_RET_TRUE(0)	「住所選択」ダイアログで「OK」ボタンが押下されたとき
ACTGEODK_RET_CANCEL(3)	「住所選択」ダイアログで「キャンセル」ボタンが押下されたとき
ACTGEODK_RET_IGNORE(4)	「住所選択」ダイアログで「無視」ボタンが押下されたとき
ACTGEODK_RET_OTHERERR(10)	その他のエラーのとき

備考

本関数は IpGeoInfo 構造体に指定された漢字住所を解析し、「住所選択」ダイアログを表示します。

「住所選択」ダイアログでは、「変更後の住所」には解析結果の住所が、「変更候補住所リスト」には解析結果の住所レベルの住所名リストが表示されます。

「OK」ボタンを押下すると、本関数は ACTGEODK_RET_TRUE を返し、「変更後の住所」と住所レベルを IpGeoInfo 構造体に設定します。また、「無視」ボタンを押下すると、本関数は ACTGEODK_RET_IGNORE を返し、「キャンセル」ボタンを押下すると ACTGEODK_RET_CANCEL を返します。



- ①「都道府県」「市区町村」「大字・丁目」「街区」「号」ボタンを押下すると「変更候補住所リスト」に対応するレベルの住所名称リストが表示されます。
- ②「絞込み」に文字列を入力すると、「変更候補住所リスト」にはその文字列を含む名称リストが表示されます。
- ③「変更候補住所リスト」の項目を選択し「選択」ボタンを押下するか、「変更候補住所リスト」の項目をダブルクリックすると、「変更後の住所」に選択した項目の住所文字列が表示されます。
- ④「変更後の住所」に文字を入力すると、その値が IpGeoInfo 構造体の szNewAddress にセットされます。

short WINAPI ACT_GEOV4_DecideXYFromZip(HWND hWnd, short nSearchFlag,
LPGEOINFOV4 lpGeoInfo, LPCSTR szLabel, UINT uFlag);

指定した郵便番号を解析し、解析結果を「郵便番号選択」ダイアログに表示します。オペレータは「郵便番号選択」ダイアログ上で住所を指定しなおすことができます。

パラメータ	説明
hWnd	ダイアログの親ウィンドウのハンドルを指定します。
nSearchFlag	Version 6.0 では使用しません。常に 0(ゼロ)を指定します。
lpGeoInfo	解析対象を設定し、解析結果を受け取る位置検索情報構造体へのポインタを指定します。詳細は、「6. 構造体の定義」をご参照ください。オンコール時には位置検索情報構造体の出力用メンバをゼロクリアしておいてください。
szLabel	Version 6.0 では使用しません。常に NULL を指定します。
uFlag	本関数のパラメータとして以下の値の論理和を指定します。何も指定しない場合は ACTGEODK_FLAG_NONE(&H0)を指定します。

値	意味
ACTGEODK_FLAG_ZIPSELTOP(&H1)	解析結果の住所が複数存在し、指定した郵便番号が7桁のときに、先頭の住所を「郵便番号選択」ダイアログの初期表示時点で選択した状態とします。
ACTGEODK_FLAG_ZIPSELECTRADR(&H10)	解析結果の住所が複数存在し、指定した郵便番号が7桁のときに、複数の住所の中心に最も近い地点の住所を「郵便番号選択」ダイアログの初期表示時点で選択した状態とします。
ACTGEODK_FLAG_IGNOREBTN(&H4)	「郵便番号選択」ダイアログで「無視」ボタンを表示する場合に指定します。
ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。

戻り値

本関数は以下の値を返します。

値	意味
ACTGEODK_RET_TRUE(0)	「郵便番号選択」ダイアログで「OK」ボタンが押下されたとき
ACTGEODK_RET_CANCEL(3)	「郵便番号選択」ダイアログで「キャンセル」ボタンが押下されたとき
ACTGEODK_RET_IGNORE(4)	「郵便番号選択」ダイアログで「無視」ボタンが押下されたとき
ACTGEODK_RET_OTHERERR(10)	その他のエラーのとき

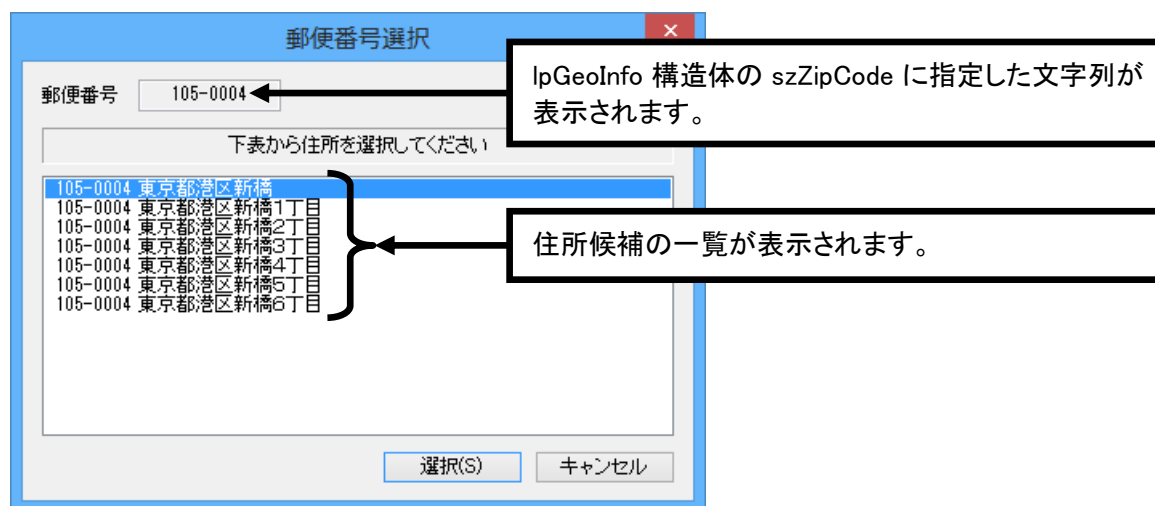
備考

本関数は IpGeoInfo 構造体に指定された郵便番号から該当する住所を検索します。

該当する住所が複数存在する場合は「郵便番号選択」ダイアログが表示されます。

「郵便番号選択」ダイアログは IpGeoInfo 構造体に指定された郵便番号を検索した結果、該当する複数の住所が存在する場合に表示されます。

「郵便番号選択」ダイアログで住所を選択し、「選択」ボタンを押下するか、住所をダブルクリックすると、選択した住所が解析結果となります。



(注)Version 3.0 以前では、「郵便番号選択」ダイアログで住所を選択した後、または、キャンセルボタンを押下した後に、「住所選択」ダイアログが表示されていましたが、Version 3.1 以降では「住所選択」ダイアログは表示されません。

```
short WINAPI ACT_GEOV4_GetXYFromAdrBatch( HWND hWnd, short nStartSearchFlag,
    short nEndSearchFlag, LPGEOINFOV4 lpGeoInfo, long lnNumGeoInfo, UINT uFlag );
```

指定した複数の住所をバッチ処理により解析し、解析結果を位置検索情報構造体にセットします。

パラメータ	説明												
hWnd	親ウィンドウのハンドルを指定します。												
nStartSearchFlag	解析を開始する住所レベルを指定します。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACTGEODK_PREFLEVEL(1)</td> <td>都道府県レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_CITYLEVEL(2)</td> <td>市区町村レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_OAZLEVEL(8)</td> <td>大字・丁目レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)</td> <td>街区レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_GOULEVEL(32)</td> <td>号レベル</td> </tr> </tbody> </table>	値	意味	ACTGEODK_PREFLEVEL(1)	都道府県レベル	ACTGEODK_CITYLEVEL(2)	市区町村レベル	ACTGEODK_OAZLEVEL(8)	大字・丁目レベル	ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)	街区レベル	ACTGEODK_GOULEVEL(32)	号レベル
値	意味												
ACTGEODK_PREFLEVEL(1)	都道府県レベル												
ACTGEODK_CITYLEVEL(2)	市区町村レベル												
ACTGEODK_OAZLEVEL(8)	大字・丁目レベル												
ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)	街区レベル												
ACTGEODK_GOULEVEL(32)	号レベル												
nEndSearchFlag	解析を終了する最上位の住所レベルを指定します。上位レベルの住所解析をしない場合は ACTGEODK_NONELEVEL(0)を設定します。												
lpGeoInfo	解析対象を設定し、解析結果を受け取る位置検索情報構造体へのポインタを指定します。詳細は、「6. 構造体の定義」をご参照ください。オンコール時には位置検索情報構造体の出力用メンバをゼロクリアしておいてください。												
lnNumGeoInfo	位置検索情報構造体の要素数を指定します。												
uFlag	本関数のパラメータとして以下の値の論理和を指定します。何も指定しない場合は ACTGEODK_FLAG_NONE(&H0)を指定します。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_NOCANCELBTN(&H100)</td> <td>処理中に表示される進捗ダイアログ上のキャンセルボタンを非表示にします。</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_HIDEDIALOG(&H200)</td> <td>進捗ダイアログを非表示にします。</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)</td> <td>世界測地系へ変換する場合に指定します。</td> </tr> </tbody> </table>	値	意味	ACTGEODK_FLAG_NOCANCELBTN(&H100)	処理中に表示される進捗ダイアログ上のキャンセルボタンを非表示にします。	ACTGEODK_FLAG_HIDEDIALOG(&H200)	進捗ダイアログを非表示にします。	ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。				
値	意味												
ACTGEODK_FLAG_NOCANCELBTN(&H100)	処理中に表示される進捗ダイアログ上のキャンセルボタンを非表示にします。												
ACTGEODK_FLAG_HIDEDIALOG(&H200)	進捗ダイアログを非表示にします。												
ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。												

戻り値

本関数は以下の値を返します。

値	意味
ACTGEODK_RET_TRUE(0)	すべての処理が正常に終了したとき
ACTGEODK_RET_CANCEL(3)	処理中に「キャンセル」ボタンが押下されたとき
ACTGEODK_RET_OTHERERR(10)	その他のエラーのとき

備考

本関数は位置検索情報構造体に指定された複数の漢字住所をバッチ処理により解析します。正しく住所が解析できたデータには、解析結果の住所文字列と座標が lpGeoInfo 構造体に出力されます。また、住所が解析できなかったデータには lpGeoInfo 構造体の座標に-1(マイナス1)が出力されます。

```
short WINAPI ACT_GEOV4_GetXYFromZipBatch( HWND hWnd, short nStartSearchFlag,
    short nEndSearchFlag, LPGEOINFOV4 lpGeoInfo, long lnNumGeoInfo, UINT uFlag );
```

指定した複数の郵便番号をバッチ処理により解析し、解析結果を位置検索情報構造体にセットします。

パラメータ	説明								
hWnd	親ウィンドウのハンドルを指定します。								
nStartSearchFlag	Version 6.0 では使用しません。常に 0(ゼロ)を指定します。								
nEndSearchFlag	Version 6.0 では使用しません。常に 0(ゼロ)を指定します。								
lpGeoInfo	解析対象を設定し、解析結果を受け取る位置検索情報構造体へのポインタを指定します。詳細は、「6. 構造体の定義」をご参照ください。オンコール時には位置検索情報構造体の出力用メンバをゼロクリアしておいてください。								
lnNumGeoInfo	位置検索情報構造体の要素数を指定します。								
uFlag	本関数のパラメータとして以下の値の論理和を指定します。何も指定しない場合は ACTGEODK_FLAG_NONE(&H0)を指定します。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_NOCANCELBTN(&H100)</td> <td>処理中に表示される進捗ダイアログ上のキャンセルボタンを非表示にします。</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_HIDEDIALOG(&H200)</td> <td>進捗ダイアログを非表示にします。</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)</td> <td>世界測地系へ変換する場合に指定します。</td> </tr> </tbody> </table>	値	意味	ACTGEODK_FLAG_NOCANCELBTN(&H100)	処理中に表示される進捗ダイアログ上のキャンセルボタンを非表示にします。	ACTGEODK_FLAG_HIDEDIALOG(&H200)	進捗ダイアログを非表示にします。	ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。
値	意味								
ACTGEODK_FLAG_NOCANCELBTN(&H100)	処理中に表示される進捗ダイアログ上のキャンセルボタンを非表示にします。								
ACTGEODK_FLAG_HIDEDIALOG(&H200)	進捗ダイアログを非表示にします。								
ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。								

戻り値

本関数は以下の値を返します。

値	意味
ACTGEODK_RET_TRUE(0)	すべての処理が正常に終了したとき
ACTGEODK_RET_CANCEL(3)	処理中に「キャンセル」ボタンが押下されたとき
ACTGEODK_RET_OTHERERR(10)	その他のエラーのとき

備考

本関数は位置検索情報構造体に指定された複数の郵便番号をバッチ処理により解析します。正しく住所が解析できたデータには、解析結果の住所文字列と座標が lpGeoInfo 構造体に出力されます。住所が解析できなかったデータには lpGeoInfo 構造体の座標に-1(マイナス1)が設定されます。

```
short WINAPI ACT_GEOV4_GetXYFromAdrBatchEx( HWND hWnd, short nStartSearchFlag,
short nEndSearchFlag, LPCSTR lpszFilePath, UINT uFlag );
```

指定したテキストファイルに出力した複数の住所をバッチ処理により解析し、解析結果を同じにテキストファイルに出力します。

パラメータ	説明												
hWnd	親ウィンドウのハンドルを指定します。												
nStartSearchFlag	解析を開始する住所レベルを指定します。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACTGEODK_PREFLEVEL(1)</td> <td>都道府県レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_CITYLEVEL(2)</td> <td>市区町村レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_OAZLEVEL(8)</td> <td>大字・丁目レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)</td> <td>街区レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_GOULEVEL(32)</td> <td>号レベル</td> </tr> </tbody> </table>	値	意味	ACTGEODK_PREFLEVEL(1)	都道府県レベル	ACTGEODK_CITYLEVEL(2)	市区町村レベル	ACTGEODK_OAZLEVEL(8)	大字・丁目レベル	ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)	街区レベル	ACTGEODK_GOULEVEL(32)	号レベル
値	意味												
ACTGEODK_PREFLEVEL(1)	都道府県レベル												
ACTGEODK_CITYLEVEL(2)	市区町村レベル												
ACTGEODK_OAZLEVEL(8)	大字・丁目レベル												
ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)	街区レベル												
ACTGEODK_GOULEVEL(32)	号レベル												
nEndSearchFlag	解析を終了する最上位の住所レベルを指定します。上位レベルの住所解析をしない場合は ACTGEODK_NONELEVEL(0)を設定します。												
lpszFilePath	解析対象の住所文字列を格納したテキストファイルのフルパスを NULL 文字で終了する文字列を設定します。また、解析結果もこのテキストファイルに出力します。詳細は、「7. ファイルの定義」をご参照ください。												
uFlag	本関数のパラメータとして以下の値の論理和を指定します。何も指定しない場合は ACTGEODK_FLAG_NONE(&H0)を指定します。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_NOCANCELBTN(&H100)</td> <td>処理中に表示される進捗ダイアログ上のキャンセルボタンを非表示にします。</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_HIDEDIALOG(&H200)</td> <td>進捗ダイアログを非表示にします。</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)</td> <td>世界測地系へ変換する場合に指定します。</td> </tr> </tbody> </table>	値	意味	ACTGEODK_FLAG_NOCANCELBTN(&H100)	処理中に表示される進捗ダイアログ上のキャンセルボタンを非表示にします。	ACTGEODK_FLAG_HIDEDIALOG(&H200)	進捗ダイアログを非表示にします。	ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。				
値	意味												
ACTGEODK_FLAG_NOCANCELBTN(&H100)	処理中に表示される進捗ダイアログ上のキャンセルボタンを非表示にします。												
ACTGEODK_FLAG_HIDEDIALOG(&H200)	進捗ダイアログを非表示にします。												
ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。												

戻り値

本関数は以下の値を返します。

値	意味
ACTGEODK_RET_TRUE(0)	すべての処理が正常に終了したとき
ACTGEODK_RET_CANCEL(3)	処理中に「キャンセル」ボタンが押下されたとき
ACTGEODK_RET_OTHERERR(10)	その他のエラーのとき

備考

本関数はテキストファイルに出力された複数の漢字住所をバッチ処理により解析します。

テキストファイルの書式の詳細は、「7. ファイルの定義」をご参照ください。

正しく住所が解析できたデータについては、解析結果の住所文字列と座標がテキストファイルの各項目に出力されます。また、住所が解析できなかったデータについてはテキストファイルの座標の項目に-1(マイナス1)が出力されます。

```
short WINAPI ACT_GEOV4_GetXYFromZipBatchEx( HWND hWnd, short nStartSearchFlag,
short nEndSearchFlag, LPCSTR lpszFilePath, UINT uFlag );
```

指定したテキストファイルに出力した複数の郵便番号をバッチ処理により解析し、解析結果を同じにテキストファイルにセットします。

パラメータ	説明								
hWnd	親ウィンドウのハンドルを指定します。								
nStartSearchFlag	Version 6.0 では使用しません。常に 0(ゼロ)を指定します。								
nEndSearchFlag	Version 6.0 では使用しません。常に 0(ゼロ)を指定します。								
lpszFilePath	解析対象の住所文字列を格納したテキストファイルのフルパスを NULL 文字で終了する文字列を設定します。また、解析結果もこのテキストファイルに出力します。詳細は、「7. ファイルの定義」をご参照ください。								
uFlag	本関数のパラメータとして以下の値の論理和を指定します。何も指定しない場合は ACTGEODK_FLAG_NONE(&H0)を指定します。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_NOCANCELBTN(&H100)</td> <td>処理中に表示される進捗ダイアログ上のキャンセルボタンを非表示にします。</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_HIDEDIALOG(&H200)</td> <td>進捗ダイアログを非表示にします。</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)</td> <td>世界測地系へ変換する場合に指定します。</td> </tr> </tbody> </table>	値	意味	ACTGEODK_FLAG_NOCANCELBTN(&H100)	処理中に表示される進捗ダイアログ上のキャンセルボタンを非表示にします。	ACTGEODK_FLAG_HIDEDIALOG(&H200)	進捗ダイアログを非表示にします。	ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。
値	意味								
ACTGEODK_FLAG_NOCANCELBTN(&H100)	処理中に表示される進捗ダイアログ上のキャンセルボタンを非表示にします。								
ACTGEODK_FLAG_HIDEDIALOG(&H200)	進捗ダイアログを非表示にします。								
ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。								

戻り値

本関数は以下の値を返します。

値	意味
ACTGEODK_RET_TRUE(0)	すべての処理が正常に終了したとき
ACTGEODK_RET_CANCEL(3)	処理中に「キャンセル」ボタンが押下されたとき
ACTGEODK_RET_OTHERERR(10)	その他のエラーのとき

備考

本関数は指定されたテキストファイルの複数の郵便番号をバッチ処理により解析します。

テキストファイルの書式については、「ファイルの定義」のページを参照してください。

正しく住所が解析できたデータについては、解析結果の住所文字列と座標がテキストファイルの各項目に出力されます。住所が解析できなかったデータについては、テキストファイルの座標の項目に-1(マイナス1)が出力されます。

```
short WINAPI ACT_GEOV4_GetNearestAddress( double ldX, double ldY,
                                          LPGEOINFOV4 lpGeoInfo, UINT uFlag );
```

指定した経緯度に最も近い大字・丁目レベルの住所を住所検索情報構造体にセットします。

パラメータ	説明				
ldX	経度(倍精度浮動小数点、単位:度)を指定します。				
ldY	緯度(倍精度浮動小数点、単位:度)を指定します。				
lpGeoInfo	解析結果を受け取る位置検索情報構造体へのポインタを指定します。詳細は、「6. 構造体の定義」をご参照ください。オンコール時には位置検索情報構造体の出力用メンバをゼロクリアしておいてください。				
uFlag	本関数のパラメータとして以下の値の論理和を指定します。何も指定しない場合はACTGEODK_FLAG_NONE(&H0)を指定します。				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)</td> <td>世界測地系へ変換する場合に指定します。</td> </tr> </tbody> </table>	値	意味	ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。
値	意味				
ACTGEODK_FLAG_ITRF(&H2000)	世界測地系へ変換する場合に指定します。				

戻り値

本関数は以下の値を返します。

値	意味
ACTGEODK_RET_TRUE(0)	すべての処理が正常に終了したとき
ACTGEODK_RET_OTHERERR(10)	その他のエラーのとき

備考

本関数は指定された経緯度に最も近い大字・丁目レベルの住所を位置検索情報構造体に設定します。指定した経緯度の±1度(日本国内では約90~110km)以内に住所ポイントが存在しない場合には、ACTGEODK_RET_OTHERERR(10)を返します。

6. 構造体の定義

位置検索情報構造体は、ACT_GEOV4_GetXYFromAdr(Zip)関数、ACT_GEOV4_DecideXYFromAdr(Zip)関数の引数として使用します。

```
// 位置検索情報構造体(1024byte)V4.0
typedef struct tagGEOINFOV4{
    char        szCode[16];           //コード(ダイアログ表示用)
    char        szName[256];         //名称(ダイアログ表示用)
    char        szAddress[256];      //検索住所文字列
    char        szZipCode[18];      //検索郵便番号文字列
    short       nAdrLevel;           //確定できた住所レベル
    char        szPrefName[10];      //解析結果の都道府県名称
    char        szCityName[26];     //解析結果の市区町村名称
    char        szOazName[58];      //V4.0 解析結果の大字・丁目名称(注1)
    char        szNewAddress[256];   //解析結果の住所
    char        szAddressCode[22];   //解析結果の住所コード
    char        szBlockName[22];    //V4.0 解析結果の街区・番地名称(注1)
    char        szHouseName[22];    //V4.0 解析結果の枝番・号名称(注1)
    char        szReserved[2];      //V6.0 予備(注1)(注2)
    short       nDatum;             //V6.0 解析結果の測地系(注2)
    char        szLon[16];          //解析結果の経度(文字列"Exxx.xx.xx.xxx")
    char        szLat[16];          //解析結果の緯度(文字列"Nxx.xx.xx.xxx")
    long        lnLon;              //解析結果の経度(1/256 秒単位)
    long        lnLat;              //解析結果の緯度(1/256 秒単位)
    double      ldLon;              //解析結果の経度(度単位)
    double      ldLat;              //解析結果の緯度(度単位)
} GEOINFOV4;
typedef GEOINFOV4 * LPGEOINFOV4;
```

(注1) Version 4.0 で新規に追加されたメンバ、または、サイズが変更されたメンバ。

(注2) Version 6.0 で新規に追加されたメンバ、または、サイズが変更されたメンバ。

構造体メンバの意味は以下の通りです。

メンバ	説明														
szCode	ACT_GEOV4_DecideXYFrom…関数で表示されるダイアログの届先コード欄に表示する文字列を設定します。														
szName	ACT_GEOV4_DecideXYFrom…関数で表示されるダイアログの届先名称欄に表示する文字列を設定します。														
szAddress	以下の関数で解析する漢字住所を設定します。 ACT_GEOV4_GetXYFromAdr 関数 ACT_GEOV4_DecideXYFromAdr 関数 ACT_GEOV4_GetXYFromAdrBatch 関数														
szZipCode	以下の関数で解析する郵便番号文字列を設定します。郵便番号文字列は全角数字、半角数字のどちらでも解析可能です。また、ハイフン(‐)が含まれていてもかまいません。 ACT_GEOV4_GetXYFromZip 関数 ACT_GEOV4_DecideXYFromZip 関数 ACT_GEOV4_GetXYFromZipBatch 関数														
nAdrLevel	解析結果の住所レベルが格納されます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACTGEODK_PREFLEVEL(1)</td> <td>都道府県レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_CITYLEVEL(2)</td> <td>市区町村レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_OAZLEVEL(8)</td> <td>大字・丁目レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)</td> <td>街区レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_GOULEVEL(32)</td> <td>号レベル</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_NONELEVEL(0)</td> <td>解析不能</td> </tr> </tbody> </table>	値	意味	ACTGEODK_PREFLEVEL(1)	都道府県レベル	ACTGEODK_CITYLEVEL(2)	市区町村レベル	ACTGEODK_OAZLEVEL(8)	大字・丁目レベル	ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)	街区レベル	ACTGEODK_GOULEVEL(32)	号レベル	ACTGEODK_NONELEVEL(0)	解析不能
値	意味														
ACTGEODK_PREFLEVEL(1)	都道府県レベル														
ACTGEODK_CITYLEVEL(2)	市区町村レベル														
ACTGEODK_OAZLEVEL(8)	大字・丁目レベル														
ACTGEODK_GAIKULEVEL(16)	街区レベル														
ACTGEODK_GOULEVEL(32)	号レベル														
ACTGEODK_NONELEVEL(0)	解析不能														
szPrefName	解析結果の都道府県名称が格納されます。														
szCityName	解析結果の市区町村名称が格納されます。														
szOazName	解析結果の大字・丁目名称が格納されます。														
szNewAddress	解析結果の住所が格納されます。														
szAddressCode	解析結果の住所コードが格納されます。														
szBlockName	解析結果の街区・番地名称が格納されます。														
szHouseName	解析結果の号・枝番名称が格納されます。														
nDatum	解析結果の測地系が格納されます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACTGEODK_DATUM_TOKYO(0)</td> <td>日本測地系</td> </tr> <tr> <td>ACTGEODK_DATUM_JGD2000(1)</td> <td>世界測地系(JGD2000)</td> </tr> </tbody> </table>	値	意味	ACTGEODK_DATUM_TOKYO(0)	日本測地系	ACTGEODK_DATUM_JGD2000(1)	世界測地系(JGD2000)								
値	意味														
ACTGEODK_DATUM_TOKYO(0)	日本測地系														
ACTGEODK_DATUM_JGD2000(1)	世界測地系(JGD2000)														

(次ページへ継続)

(前ページから継続)

メンバ	説明
szLon	解析結果の経度文字列が格納されます。Ex. "Exxx.xx.xx.xxx"
szLat	解析結果の緯度文字列が格納されます。Ex. "Nxx.xx.xx.xxx"
lnLon	解析結果の経度が格納されます。(1/256 秒単位)
lnLat	解析結果の緯度が格納されます。(1/256 秒単位)
ldLon	解析結果の経度が格納されます。(度単位)
ldLat	解析結果の緯度が格納されます。(度単位)

7. ファイルの定義

7.1 入力ファイル定義

ACT_GEOV4_GetXYFromAdr(Zip)BatchEx 関数の入力用ファイルとして使用します。

入力ファイルは、カンマ区切りの可変長テキストファイルとし、下表のフィールドをもつものとします。ただし、データレコードは1行目からとします。

項番	項目	説明
1	コード	レコードを識別する一意のコードを表す文字列を設定します。必要なければ空白でかまいません。
2	名称	レコードの名称を表す文字列を設定します。必要なければ空白でかまいません。
3	漢字住所(郵便番号)	解析する漢字住所、または、郵便番号を表す文字列を設定します。

7.2 出力ファイル定義

ACT_GEOV4_GetXYFromAdr(Zip)BatchEx 関数の出力用ファイルとして使用します。

出力ファイルは、カンマ区切りの可変長テキストファイルとし、下表のフィールドをもつものとします。ただし、1行目からデータレコードを出力します。

項番	項目	説明
1	コード	入力ファイルで指定した値。
2	名称	
3	漢字住所(郵便番号)	
4	レベル	解析結果の住所レベルが格納されます。 1・・・都道府県レベル、2・・・市区町村レベル、8・・・町・丁目レベル、 16・・・街区レベル、32・・・号レベル、0・・・解析不能
5	住所コード	解析結果の住所コード。
6	都道府県名称	解析結果の都道府県名称が格納されます。
7	市区町村名称	解析結果の市区町村名称が格納されます。
8	町・丁目名称	解析結果の町・丁目名称が格納されます。
9	街区・番地名称	解析結果の街区・番地名称が格納されます。
10	号・枝番名称	解析結果の号・枝番名称が格納されます。
11	解析住所	解析結果の住所が格納されます。
12	経度(文字列)	解析結果の経度文字列が格納されます。 Ex."Exxx.xx.xx.xxx"
13	緯度(文字列)	解析結果の緯度文字列が格納されます。 Ex."Nxx.xx.xx.xxx"
14	経度(整数値)	解析結果の経度が格納されます。(1/256 秒単位)
15	緯度(整数値)	解析結果の緯度が格納されます。(1/256 秒単位)
16	経度(浮動小数)	解析結果の経度が格納されます。(度単位)
17	緯度(浮動小数)	解析結果の緯度が格納されます。(度単位)
18	測地系 ^(注)	解析結果の経度・緯度の測地系が格納されます。 0・・・日本測地系、1・・・世界測地系(JGD2000)

(注)Version 6.0 で新規に追加されたフィールド。

以上